

ふるさと探訪の道

阿南健康第14番完歩 羽ノ浦公民館の道

羽ノ浦公民館
羽ノ浦町宮倉大木38-4
Tel (0884) 44-1120

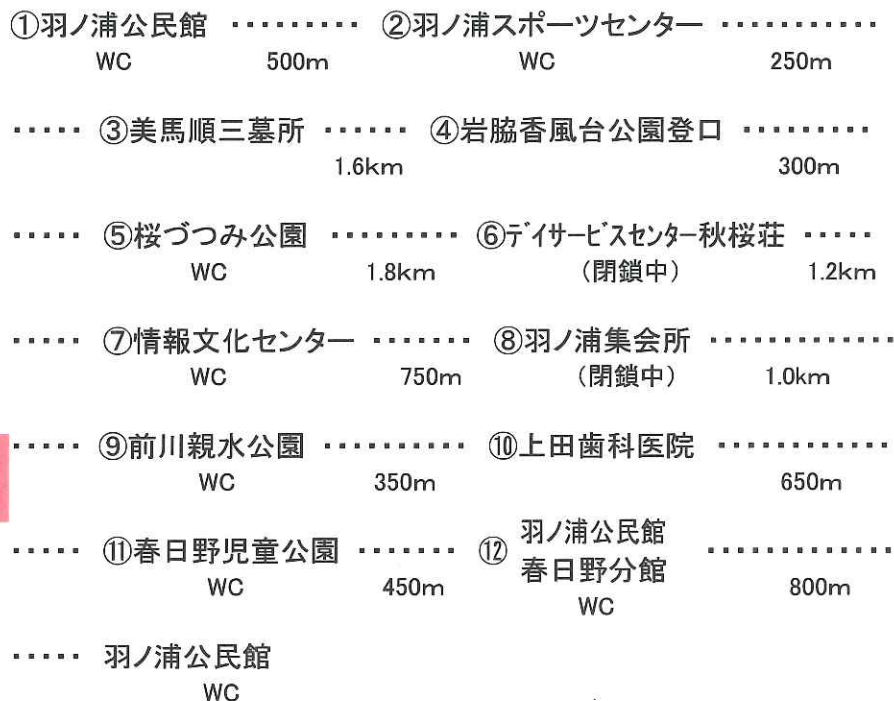
羽ノ浦町交番: 44-2550
日峯タクシー: 44-4444
生野胃腸科外科: 44-5511
せきしんかん
羽ノ浦クリニック: 24-8585
富永医院: 44-2123
羽ノ浦整形外科
内科病院: 44-6111
ふじの内科クリニック: 28-6321
宮本病院: 44-4343
むらかみ内科クリニック: 44-1010

トイレは曜日・時間
により利用できない
施設があります



ふるさと探訪の道

阿南健康第14番完歩 羽ノ浦公民館の道



●**美馬順三墓所** 岩脇・紫雲庵の境内に「密山即順居士」と法名印刻された美馬順三氏の墓碑がある。1795（寛政7）年に岩脇村に生まれ、長崎で蘭学を学び、オランダの医師シーボルトに師事して鳴滝塾頭としてその名を馳せ、日本医術を世界に紹介した。31歳学業半ばにして長崎で没し、その墓は長崎市寺町の大音寺の境内にある。その後、美馬家の者が長崎にいたり、その碑文を写しかえって建立した。

●**取星寺** 妙見山松寿院取星寺の称され、弘法大師を開基とする。古い歴史を持ち郷土では第一の古刹である。古い記録によれば1412（応永19）年後小松天皇の時増上人によって古びた取星寺は復

興した。後日、祈願により天皇の病気が快復し、紫の法衣を賜った。現在の紫衣池（しいけ）の地名に由来する。またこの寺は、岩脇公園の一部でもあり、春は桜、初夏はアジサイ、秋には紅葉が見ごろとなる。

●**明現神社** 神仏混合の時代は妙見宮と呼んでいたが1868（明治元）年神仏分離のあと明現神社と改称した。岩脇・明見・古毛地区の産土神で開運守護の尊神である。ご神体は木彫像で弘法大師の作だと言われている。文化12年に完成された「阿波史」に「星祠、岩脇山中に在り」と記され星との深い関わりをしのばせている。

●**桜の馬場** 那賀川堤防から妙見山の麓まで150mの馬場の両側に250本あまりの老木、若木の各種の桜の並木があり、県南の桜の名所として知られている。春には爛漫たる花のトンネルとなり、これが岩脇公園の入口玄関である。明治の末頃までここで競馬が行われた。

●**桜つつみ公園** ここは、もともと那賀川の水や上流の浸透水が湧き出す遊休地であった。平成5年に約500mのボタン桜並木ができ、併せてドンガン淵の低湿地を整備して、中央の池・太鼓橋・遊具・駐車場等が設置され、住民の憩いの場となっている。春には町外からも多数の花見客が訪れている。

●**岩脇の水神社** 水神社は、本殿の屋根の上部に反りをもたせ長く流した「流造り」の様式を模して造られ、棟には千木・鯉木がつけられている。本殿の前の両側に獅子狛が置かれている。御祭神は、水遠女命（みずはのめのみこと）である。紀記神話によると伊弉諾尊・伊弉冉尊の間に生まれた神であるという。灌漑用水の神として取水口などにまつられ、堰用水を守る神であるとも言われている。岩脇の水神社は、旧大井出用水堰の上に建てられ、その横には堰跡の碑文がある。

●**前川親水公園** 従来、湧水池として子供の水遊び場、釣り場として親しまれていたが、地下水の低下、水質の悪化により水辺の環境整備が行われ、あづまや、遊歩道、トイレなどが設置された。現在湧水量は少なくなっているが、地域住民の憩いの場として利用されている。